

2021年3月4日  
SOMPOホールディングス株式会社

## SOMPOホールディングスが「健康経営銘柄2021」に選定

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO執行役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、健康経営<sup>※1</sup>に優れた企業として経済産業省と東京証券取引所が共同で選定する「健康経営銘柄2021」に選定されました。2019年から3年連続の選定となります。

あわせてSOMPOグループの20社が、経済産業省および日本健康会議が運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2021大規模法人部門」および「健康経営優良法人2021中小規模法人部門」に認定され、そのうち9社が「健康経営優良法人2021大規模法人部門（ホワイト500）」、1社が「健康経営優良法人2021中小規模法人部門（ブライト500）」に認定されました。

※1 健康経営は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

### 1. 「健康経営銘柄」および「健康経営優良法人大規模法人部門（ホワイト500）」、「健康経営優良法人中小規模法人部門（ブライト500）」の概要

#### （1）「健康経営銘柄」

「健康経営銘柄」とは、従業員等の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる上場企業を選定するものです。

7回目となる今回は、29業種から48社が選定されました。



（選定された当社グループ会社）

- ・ SOMPOホールディングス株式会社【3年連続】

**(2) 「健康経営優良法人大規模法人部門（ホワイト500）」・「健康経営優良法人中小規模法人部門（ブライツ500）」**

「健康経営優良法人大規模法人部門（ホワイト500）」とは、大規模法人のうち、保険者と連携して優良な健康経営を実践している法人を認定・公表する制度です。2018年より、上位500法人が通称「ホワイト500」として認定されています。

「健康経営優良法人中小規模法人部門（ブライツ500）」とは、中小規模法人のうち、健康経営優良法人の中でも優れ、かつ地域において、健康経営の発信を行っている法人を認定・公表する制度です。本年より上位500法人が通称「ブライツ500」として認定されています。

（認定を受けた当社グループ会社）

**「健康経営優良法人2021（大規模法人部門（ホワイト500）」**

- ・ SOMPOホールディングス株式会社【5年連続】
- ・ 損害保険ジャパン株式会社【5年連続】
- ・ SOMPOひまわり生命保険株式会社【5年連続】
- ・ SOMPOヘルスサポート株式会社【5年連続】
- ・ SOMPOコミュニケーションズ株式会社【3年連続】
- ・ 損保ジャパンキャリアビューロー株式会社【3年連続】
- ・ 株式会社プライムアシスタンス【3年連続】
- ・ 損保ジャパンパートナーズ株式会社【2年連続】
- ・ SOMPOコーポレートサービス株式会社【初認定】

**「健康経営優良法人2021（大規模法人部門）」**

- ・ SOMPOリスクマネジメント株式会社【5年連続】
- ・ SOMPOビジネスサービス株式会社【5年連続】
- ・ SOMPOシステムズ株式会社【2年連続】
- ・ セゾン自動車火災保険株式会社【2年連続】

**「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門（ブライツ500）」**

- ・ ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社【初認定（優良法人認定は3年連続）】

**「健康経営優良法人2021（中小規模法人部門）」**

- ・ SOMPOアセットマネジメント株式会社【2年連続】
- ・ 損保ジャパンDC証券株式会社【初認定】
- ・ SOMPOビジネスソリューションズ株式会社【初認定】
- ・ SOMPO企業保険金サポート株式会社【初認定】
- ・ SOMPOクレジット株式会社【初認定】
- ・ SOMPOワランティ株式会社【初認定】

## 2. SOMPOグループにおける健康経営の取り組み

企業の持続的成長のためには、社員の仕事における幸せ（Happiness at work）が必要であり、SOMPOグループでは健康経営の推進によりウェルビーイング、すなわち社員の心と体の健康を高めることができると考えています。SOMPOグループの経営理念は、「安心・安全・健康に資する最高品質のサービスを提供する」ことであり、この理念を実現させる原動力が、「社員およびその家族の健康」です。

そのため、社員とその家族の心身の健康管理を経営課題として認識する旨をグループ健康宣言に明記し、健康経営を推進しています。

### 【SOMPOグループ健康宣言】

SOMPOグループは、「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービスをご提供し、社会に貢献」するために、社員とその家族の心と体の健康を大切にします。

- ・当事者意識を尊重し、社員一人ひとりのミッションや働き方に応じた主体的な健康活動を支援します。
- ・多様な才能や強みを表現できる場を用意し、健康的で能力を発揮しやすい環境により、個人そして組織の生産性向上を図ります。
- ・社員の働きがいの向上や新たなイノベーションの創出により、今よりも健康で元気な社会の実現に貢献します。

具体的には、①社員の健康維持・増進、②活力ある労働環境確保、③データヘルス、の3点に着目して取り組みを進めています。①社員の健康維持・増進については、健康データ分析ノウハウを活用し、健康保険組合とも連携しながら、社員一人ひとりの健康状態に合わせた取り組みを実施しています。②活力ある労働環境確保については、「SOMPOの働き方改革」の推進と連動させ、労働時間の適正化や場所を問わない働き方を推進しています。③データヘルスについては、前述の健康データ分析に加えて、労働時間やプレゼンティーズム<sup>※2</sup>との関係性についての分析や、ウェアラブル端末から収集した健康状態のデータと健康診断結果やレセプトデータを用いた分析を進めています。

※2 プレゼンティーズムとは、心身の健康状態による生産性低下がもたらす損失を意味します。

## 3. 今後について

今後も先進的なデータヘルスの取り組みを展開し、健康課題とデータ分析に基づく継続的な施策の効果検証が見える化するとともに、社員が心身ともに健康を実感し、Happiness at workにつながる活動を推進します。

また、社員のヘルスリテラシーの向上を図り、健康経営と当社グループの事業シナジーを一層高め、安心・安全・健康のテーマパークとしてお客さまへ最高品質のサービス提供することを通じ、社会的課題の解決に貢献していきます。

以上